

近代遺産 きんだい いさん  
 六軒屋閘門 ろっ けん や こうもん

(所在地) 西区江之子島二丁目 津波・高潮ステーション敷地内

淀川の改修工事により、分流する伝法川・正蓮寺川・六軒屋

川および安治川の水位に大きな格差かくさをもたらし、船運に支障ししょうを

きたすことになった。これらの諸川は昔より諸物資を市内や上流

に運ぶための重要な交通路であった。水位の格差を調整し、海水

の逆流を防止するために、閘門・洗堰あらいせきが設けられた。

六軒屋第一閘門は明治四三年二月に設置される。その後、通

航船数の増加に伴い、既設きせつの閘門の東側に並行して、第一よりひ

とまわり大きい第二閘門が大正一二年三月に設けられた。

第一閘門は利用の減少と地盤沈下により、昭和二十五年三月

末に使用が廃止された。以後、第二閘門も昭和三九年十月、公

用廃止の告示があり撤去てつきよされた。中津運河も昭和四十八年に

埋め立てられた。



『大阪市街図』明治36年(1903)より



【碑文】

六軒屋閘門